(1)補助の内容						作成	年度	29	9 年度	
1補助金名称		すその夏まっ	り補助:	金		2担当	課名		商工観光課	
3予算科目	款 7	項 1	目	3	事業:	コード	07	20		
4現在考えている	終期設定の		無	/5.11= /-					7	
事業期間		347 年度 1914年 4 新	~	終期(-		ᆂᄜᄉ	— 六	年度	(終期設定有の場	合のみ
5根拠例規の有無	有	例規名称	(枯野)	<u> 市産業に</u>						
6性質別分類①		市単独助成	`	7性質別]分類(2	2)		b事業	費補助	_
8交付先分類		三団体(その他								
9交付先		つり実行委員会								
10補助金の目的	市民あげての	のコミュニティの	の場の創	引出。裾野	が 市の鬼	ま力の 多	発信に。	よる観	光振興	
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費に	よる商業者の	売上増と	:市民の=	ミュニ [.]	ティの創	削出			
12補助対象者・団体等 が補助金で行う活動	すその夏まで	つりの開催								
13積算根拠の有無	無]								
14積算の考え方 計算式	要望額を踏	まえ決定								
15補助対象経費の設定の有無	無									
16補助対象経費の内容	交際費	慶弔領	責	飲食費		懇親	会費		積立金	
その他補助対象の 項目										
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度				補力				
団体						11137	_			1
人数										
7 127			-	7 hh						J
10十の世界人の財源)	_	予算 - 左 帝	(+	円)	→ ±			1
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度		年度 0			補	疋		1
国・県支出金 その他補助金	(0	0						
一般財源 合計	17,870			17,000 17,000						-
	17,870		<u> </u>	17,000						_
19団体・事業の財務内容		28 年度				補力	₹			1
補助金市	17,870	17,87	0							
助成金その他	(0							
事業収入	7,493		-							
会費(自己負担等)	(0							
繰越金	1,642		_							
その他	7,226									1
合計	34,231	-								_
市の補助金の割合	52%	48	%							

(2)直近の見直し	の状況(過去5年	間)		
1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度
3内容				
(3)基本的な視点	からの評価			
評価項目及	び視点	適否	$(\triangle \cdot \times \sigma)$	場合のみ記入)理由・説明
【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか	っを行うに足りる公	0		
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0		
③広く市民生活の向.	上に貢献するか	0		
④市民ニーズが高い	事業か	0		
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0		
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0		
【妥当性】				
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0		
⑧最適な補助対象か		0		
【有効性】				
⑨補助金額に見合う できるか	効果が十分に期待	0		
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0		
【公平性】 ⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0		
②交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0		

すその夏まつり補助金

担当課名

商工観光課

補助金名称	すその	ショニング	 り補助金	担当課名	 商工観光課				
(5)ガイドライン <i>の</i>			× 1111/23	1 — #11 H	1-3				
評価項		適否	(△•×の場合	(Δ·×の場合のみ記入)理由と今後の対応					
①補助金の終期を設定	 E しているか	×	事業の終了をもって原)終了をもって廃止を検討					
②積算基準を定めてい (前年踏襲になってい		×	定めがない						
③補助要綱で補助対象 になっているか	となる経費が明確	0							
④補助対象経費に懇親会費 補助対象として適当でない		0							
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているが		×	自主財源の増額を促	す					
⑥繰越金・積立金・余乗 は適切か	割金・内部留保の額	0							
⑦類似した補助金はな	いか	0							
⑧自主財源の確保に勢(最低でも前年度の収力		0							
⑨再補助(交付先が再	補助)はないか	0							
⑩履行確認は、適切に	できているか	0							
 (6)補助効果の検									
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	- 本安治弗による商業	業者の売	上増と市民のコミュニー	ティの創出					
2達成状況	年々来場者が増加	し、賑わ	いが増し、経済効果も	大きい					
3補助効果の評価	a十分効果をあ	らげてい	გ						
4評価の理由	市民に定着し、盛り	上がって	こいる						
(7)今後の方向性									
今後の方向性 	b見直した上	で継続							
「a現行のまま継続」	の場合		「b見直した上						
			見直しの内容	とともに、自主	いて関係者で検討する :財源の増額(出店者や きを検討する				

「a現行のまま継続」の)場合		で継続」の場合
継続の理由			事業規模について関係者で検討する とともに、自主財源の増額(出店者や 利用者負担)等を検討する。
		兄担しの时期	ПСЭ

「c廃止する」の場合	「dその他」の場合				
廃止の理由	その他の 内容				
廃止の時期					

(1)補助の内容			作成年度 29 年度				年度				
1補助金名称	有害	有害鳥獣防護柵設置費衤				浦助金 2担当課名				興課	
3予算科目	款 6	項 1	目	3	事業:	コード	06	08			
4現在考えている	終期設定の有	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	無	/5.11= /-					7		
事業期間	開始 H		~	終期(-		一里#	─ ╚╶┾╧╺╾┰		(終期設定	2有の場	合のみ
5根拠例規の有無		例規名称	(枯野)	有害 獣							1
6性質別分類①		7単独助成	1	7性質別]分類②	2)		b事業	費補助]
8交付先分類		E団体及び個									
9交付先	市内に経営制										
10補助金の目的	有害鳥獣によ	る農作物被	害を防止	:するため)、防護	柵を設	と置する	費用0	り一部を	補助す	する。
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物被害 <i>0</i>	D軽減と営農B	環境の係	录全 。							
12補助対象者・団体等 が補助金で行う活動	防護柵設置は	二要した原材料	料費の一	一部。							
13積算根拠の有無	無										
14積算の考え方 計算式	定額 (補助率1/2	上限45,000円)								
15補助対象経費の設定の有無	有										
16補助対象経費の内容	交際費	×慶弔費	費 ×	飲食費	×	懇親	会費	×	積立	金	×
その他補助対象の項目											
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度				補力	 足]
団体	_: : <u>~</u>					11137					
人数											
	54	, <i>tet</i> e		7 <i>55</i>	1 / エ	ш,					<u>i</u>
18市の補助金の財源		算	_	予算 - 左 帝	(千	円 <i>)</i>	補				1
国・県支出金	27 年度	28 年度		年度 0			作用	<u></u>			
その他補助金	0		0	0							
一般財源	523	46	_	750							
合計	523	46	_	750							
						/ 士)
19団体・事業の財務内容		28 年度	c			補力	Œ				
補助金 市 助成金 その他	523	46	-								
(10 12	0		0								
事業収入 会費(自己負担等)	523	46	0								
会員(自己貝担寺 <i>)</i> 繰越金			0								
深越並 その他	0		0								
合計		93									ł
市の補助金の割合	1,046		_								j
中の補助金の割合	50%	50	70								

(2) 直近の見直し	の状况(過去5年	- 間)			
1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度	
3内容					
(3)基本的な視点	からの評価				
評価項目及	び視点	適否	(△•×の	場合のみ記入)理由	I∙説明
【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか	を行うに足りる公	0			
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0			
③広く市民生活の向」	上に貢献するか	0			
④市民ニーズが高い	事業か	0			
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0			
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0			
【妥当性】					
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0			
⑧最適な補助対象か		0			
【有効性】					
⑨補助金額に見合う? できるか	効果が十分に期待	0			
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0			
【公平性】					
⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0			
②交付先や補助金額 ているか	 は公平に決められ	0			

有害鳥獸防護柵設置費補助金

担当課名

農林振興課

++ u_	→ 中 白 ※L D	+-# +m =:	ᆪᆓᆂ ᆉ ᄘᇫ	↓□ V/=⊞ Æ	## ++ += (12 ==
補助金名称		力護柵部	设置費補助金 ————————————————————————————————————	担当課名	農林振興課
(5)ガイドラインの 評価項		適否	(Δ·×の場	合のみ記入)理	 里由と今後の対応
①補助金の終期を設定		X			あり、終期は設定しない。
②積算基準を定めてい (前年踏襲になってい		0			
③補助要綱で補助対象 になっているか	となる経費が明確	0			
④補助対象経費に懇親会費 補助対象として適当でない経		0			
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているか		0			
⑥繰越金・積立金・余剰 は適切か	金・内部留保の額	0			
⑦類似した補助金はない	ハか	0			
⑧自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入		0			
⑨再補助(交付先が再	補助)はないか	0			
⑩履行確認は、適切に	できているか	0			
(6)補助効果の検	 証				
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物被害の軽減。	と営農環	環境の保全。		
2達成状況	農作物被害の軽減				
3補助効果の評価	a十分効果をあ	げてい	გ		
4評価の理由 申請件数が増加傾向にあり、有害鳥獣対策としての事業効果も高い。					高い。

(7)今後の方向性

(· / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
今後の方向性	a現行のまま継続

「a現行のまま継続」の)場合	「b見直した上	で継続」の場合
	有害鳥獣による農作物被害軽減の措置として必要であるため。	見直しの内容見直しの時期	

	「c廃止する」の場合	「dその他」の均	易 合
J	廃止の理由	その他の 内容	
J	廃止の時期		

(1)補助の内容					作成	年度	29	年度	
1補助金名称	環	境保全型農業	支援補助釒	2担当	2担当課名 農				
3予算科目	款 6	項 1	目	3 事	業コード	06	80		
4現在考えている	終期設定の有	•						1	
事業期間	開始不			期(予定				(終期設定有の:	場合のみ
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市環						
6性質別分類①		あり)国・県の制度と		質別分類	頁②		b事業	費補助	
8交付先分類	d不特別	を団体及び個人							
9交付先	市内に経営制	#地を有する農	家						
10補助金の目的	化学肥料や島	農薬の使用を低	減する取り	り組みに	関する費用	月の一部	部を補	助する。	
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	食の安心安全	と付加価値の	高い農作	物の栽培	O				
12補助対象者・団体等 が補助金で行う活動	天然肥料の作	乍付や堆肥の旅	用等に係	る経費。					
13積算根拠の有無	有								
	市負担1/4								
14積算の考え方 計算式									
15補助対象経費の設定の有無	有								
16補助対象経費の内容	交際費	×慶弔費	× 飲	食費 ×	懇親	会費	×	積立金	×
その他補助対象の 項目									
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度			補足	₽			
団体	27 172	20 172			11117				
人数									
//3/									
		·算	予算		千円)				_
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年			補	足		
国·県支出金	150	150		225					
その他補助金	0	0		0					
一般財源	50	50		75					
合計	200	200		300					
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度			補足	2			
補助金市	50	50							
助成金その他	150	150							
事業収入	0	0							
会費(自己負担等)	0	0							
繰越金	0	0							
その他	0	0							
合計	200	200							
市の補助金の割合	25%	25%							_
15 44 101 A) TE 44 B) FI	20/0	25/0							

	(2)直近の見直しの状況(過去5年間)										
	1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度						
	3内容										
	評価項目及	び視点	適否	$(\triangle \cdot \times \sigma)$	場合のみ記入)理由・説明						
	【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか]を行うに足りる公	0								
	②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0								
	③広く市民生活の向	上に貢献するか	0								
④市民ニーズが高い事業か			0								
⑤補助金で行われている活動に対して、 市が関与する必要性があるか			0								
	⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→○、ない→×	があるか	0								
	【妥当性】				_						
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金と いう手段が最適か			0								
8最適な補助対象か		0									
【有効性】 ⑨補助金額に見合う効果が十分に期待 できるか			0								
	⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0								
	【公平性】 ⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0								
	②交付先や補助金額 ているか	iは公平に決められ	0								

環境保全型農業支援補助金

担当課名

農林振興課

補助金名称	環境保全型農業支援補助金	担当課名	農林振興課				
(5)ガイドラインの目前しの組占							

(5)	ガィ	バラィ	へっの	目直目	しの視り	占
$\cdot \cup $	/ / / / /	1 ' 7 '	I — U J	77.18	ノリノ 17π	

評価項目	適否	(Δ·×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	0	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	0	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	0	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	0	国・県との協調補助により市補助率1/4
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	0	
⑦類似した補助金はないか	0	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	0	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	0	
⑩履行確認は、適切にできているか	0	

(6)補助効果の検証

(-)	
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	食の安心安全と付加価値の高い農作物の栽培。
2達成状況	有機栽培による安全な農作物栽培の実施

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている	
4評価の理由	安全性と付加価値の高い農作物の気	生産に成果を上げている。

(7)今後の方向性

「a現行のまま継続」の)場合	「b見直した上	で継続」の場合
継続の理由	国・県との協調補助であり、安心 安全で付加価値の高い農作物生 産に必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合	「dその他」の場合		
廃止の理由	その他の 内容		
廃止の時期			

<u>(1)補</u>	助の内容	│ 作成年度												
1補助金	名称	特殊病害虫対策補助金					2担当課名 農林振興課							
3予算科		款	6	項	1	目	3	事業	コード	06	08			
4現在考			没定のす		無	ŧ								
事業期間		開始		以前	年度	~	終期(_			(終期設定		
5根拠例類	規の有無	7	有	例規名	3称	裾野ī	卜農林業	指導及	び振興	に関す	る補助	金等交	を付要	綱
6性質別分	_			市単独.			7性質別	分類②	2		b事業領	費補助		
8交付先约	分類		d不特定	定団体	及び個人									
9交付先		-			有する農									
10補助金	の目的	病害の助する)農作物	勿の被害	拡大を	がぐため	か、病害	'虫等 <i>0.</i>)駆除に	に関する	6費用 €)一部	を補
		病害虫	虫の蔓延	正による	る農作物	被害拡	大の防	止。						
る効果・目	「楪 ム、アウトプッ													
	は数値等)													
		害虫馬	返除用	の農薬	代等。									
	12補助対象者・団体等													
が補助金で行う活動														
1 a 1 + 66 15	1 lbn													
13槓算板	拠の有無		無 											
		定額												
14積算の)考え方													
計算式														
. = 1-4-01 + 1-4-2	w # 0 = 1 + 0 + 4			1										
	経費の設定の有無 象経費の内容		無 <u></u> 際費	~	声		か 会 弗		懇親	企 弗	~	積立	. 全	TV
10/用均[为]	<u> </u>	又印	尔 [×	慶弔費	×	飲食費	×	恋 机	云	×	付り	L <u>जर</u>	×
スの出	ᅷᇝᆠᄼ													
項目	補助対象の													
것니														
	の構成員数	27	年度	28	年度				補力	₹				
団体														
人数														
			건	 快算		3	予算	(エ	円)					_
18市の結	前助金の財源	27	<u></u> / ' 年度	1	<u>年度</u>		" 	\ 1	1 1/	補	足			1
国・県支		21	<u> </u>		<u> </u>	29				ТН	Æ			
その他補			0		0		0	1						
								4						
一般財源			0	1	0		200							-
	合計		0		0		200							J
19団体•事	事業の財務内容	27	生度 生態 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度	28	年度				補見	足				
補助金	市		0		0									
助成金	その他		0		0									
事業収入			0		0									
会費(自己	己負担等)		0		0									
繰越金			0		0									
その他			0		0									
	 合計		0		0									1
	<u>ロロ</u>]金の割合			 	<u> </u>									J
' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ') TT 44 D.1 P.			Ī		Ī								

(2)直近の見直し	の状況(過去5年	:間)			
1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度	
3内容					
(3)基本的な視点	からの評価				
評価項目及	び視点	適否	(△•×の	場合のみ記入)理由	ι•説明
【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか	を行うに足りる公	0			
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0			
③広く市民生活の向」	上に貢献するか	0			
④市民ニーズが高い	事業か	0			
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0			
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0			
【妥当性】					
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0			
8最適な補助対象か		0			
【有効性】					
9補助金額に見合う。 できるか	0				
⑩目的や目標を適切か	に設定できている	Δ	特殊病害虫の範囲(気	E義)が不明瞭である	00
【公平性】 ①その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0			
②交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0			

特殊病害虫対策補助金

担当課名

農林振興課

補助金名称	特殊病害虫対策補助金	担当課名	農林振興課					
(5)ガイドラインの目前しの組占								

((5)	ti,	イド=	ライ	10	見直		相	占
١		, , , ,	1 1	/ 1	ノロ	<i>)</i> 뉴 ㅁ	しょひょ	ጥኵ	Щ.

評価項目	適否	(Δ·×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	被害規模等により金額が異なるため
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	0	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	0	
⑦類似した補助金はないか	0	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	0	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	0	
⑩履行確認は、適切にできているか	0	

(6)補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	病害虫の蔓延による農作物被害拡大の防止。
2達成状況	過去2ヵ年交付実績なし

3補助効果の評価	dその他	
4評価の理由	過去2ヵ年交付実績はないが、仮に	発生した時には迅速な対応が必要

(7)今後の方向性

() /					
今後の方向性	b見直した上で継続				

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合		
継続の理由		見直しの内容		
		見直しの時期	平成29年度中	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合		
廃止の理由		その他の 内容		
廃止の時期				

(4) 牡果の中京	•				<i>作</i>	20 /	- +	
(1)補助の内容	T				作成年度	29 年		
1補助金名称					2担当課名		林振興課	
3予算科目	款 6	項 1	目 3	事業	コード 06	808		
4現在考えている	終期設定の有			 \				
事業期間	開始 H8以		~ 終期(-				冬期設定有の場	
5根拠例規の有無	有	17 3770 El 17	裾野市農業近代化資:					付要綱
6性質別分類①		5り)国・県の制度と	の連動 7性質別	引分類②	2)	c利子補約	合補助]
8交付先分類	c特定	団体(その他)						
9交付先		善計画の認定を	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•		111 -	- 45 4	1-1
10補助金の目的	融資機関から する。	投機関から農業経営基盤強化資金の貸付を受けた農業者に対し、利子の一部を補助る。						
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業担い手の	農業担い手の負担軽減と農業経営支援。						
12補助対象者・団体等 が補助金で行う活動	農業者への隔	強資利子額の補	填。					
13積算根拠の有無	有							
	補給率1%以口	4						
14積算の考え方 計算式								
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費	× 慶弔費	×飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の 項目								
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度			補足			1
団体	27 十汉	20 +12			111174			
人数								
八奴								J
	決	算	予算	(千	円)			_
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度		補	起		
国•県支出金	46	41	75					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	46	41	75	1				
合計	92	82	150]
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度			補足			
補助金市	46	41						1
助成金その他	46	41						
事業収入	0	0						
会費(自己負担等)	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	0						
合計	92	82						1
								j
市の補助金の割合	50%	50%						

(2) 直近の見直し	の状况(過去5年	- 間)			
1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度	
3内容					
(3)基本的な視点	からの評価				
評価項目及	び視点	適否	(△•×の	場合のみ記入)理由	I∙説明
【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか	を行うに足りる公	0			
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0			
③広く市民生活の向」	上に貢献するか	0			
④市民ニーズが高い	事業か	0			
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0			
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0			
【妥当性】					
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0			
⑧最適な補助対象か		0			
【有効性】					
⑨補助金額に見合う? できるか	効果が十分に期待	0			
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0			
【公平性】					
⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0			
②交付先や補助金額 ているか	 は公平に決められ	0			

農業近代化資金利子補給金

担当課名

農林振興課

補助金名称	農業近代化資金利子補給金	担当課名	農林振興課			

補助金名孙	農業近代	化貧金	列士伸和	合金	担当課名	農杯振興 誄
(5)ガイドラインの	見直しの視点					
評価項	目	適否		(Δ·×の場合のみ記入)理由と今後の対応		
①補助金の終期を設定	しているか	×	継続的	な取り組みが	必要な事業で	あり、終期は設定しない。
②積算基準を定めていて (前年踏襲になっている		0				
③補助要綱で補助対象 になっているか	となる経費が明確	0				
④補助対象経費に懇親会費 補助対象として適当でない経		0				
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているか		0				
⑥繰越金·積立金·余剰 は適切か	金・内部留保の額	0				
ク類似した補助金はない。 フ類似した補助金はない。	いか	0				
8自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入		0				
9再補助(交付先が再補	補助)はないか	0				
⑩履行確認は、適切に	できているか	0				
(6)補助効果の検	証					
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	(アウトカム、アウトプッ 辰耒担い手の負担軽減と辰耒経呂又援。					
2達成状況	市内農家の経営支持 市内農家の経営支持	援				
3補助効果の評価	a十分効果をあ	らげている	る			
4評価の理由	農業担い手の負担	軽減と農	業経営	の安定に成果	を上げている	o
(7)今後の方向性						
今後の方向性	a現行のま	ま継続				
「a現行のまま継続」の		- (「b見直した上 [・]	で継続」の場合	<u> </u>
継続の理由	県との協調補助であります。 負担軽減と支援に必			見直しの内容		
				見直しの時期		
「。広ルナフ・の坦へ				「」ての小・の」	日人	
「c廃止する」の場合				「dその他」の均	あ台 	
廃止の理由				その他の		

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合		
廃止の理由		その他の 内容		
廃止の時期	** dik ***			

(1)補助の内容					作成	年度	29 :	年度	
1補助金名称	農	業機械等導入	事業補助金		2担当	課名	ļ	農林振興課	
3予算科目	款 6	項 1	目 3	事業	コード	06	80		
4現在考えている	終期設定の								
事業期間	17.15.	26 年度		朝(予定)	H:			(終期設定有の場 - 4回	骨のみ
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農業			補助団			-
6性質別分類①		りませり 大単独助成	7作生	質別分類(2)		dその)他	_
8交付先分類		eその他							
9交付先	認定農業者等								
10補助金の目的	農業用施設• 	農業用施設・設備・機械等の購入に関する費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	認定農業者の	認定農業者の農業経営効率化と大規模化の支援。							
12補助対象者・団体等 が補助金で行う活動	農業用施設•	農業用施設・設備・機械の購入に係る経費。							
13積算根拠の有無	有								
14積算の考え方 計算式	補助対象経動 万円)	貴の10分の1以	内(機械上队	艮=20万円	7、設備	上限=	50万円	、施設上限:	=100
15補助対象経費の設定の有無	有								
16補助対象経費の内容	交際費	× 慶弔費	× 飲食	費 ×	懇親	会費	X	積立金	×
その他補助対象の 項目									
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度			補足				1
団体		20 1 12			11137				1
人数									
V 12/	<u> </u>	- Jefe	7 hh		· m \				_
10十の世界への財源		90.左座	予算		-円)	→±			1
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度	_		補	正		
国・県支出金 その他補助金	0	0		0					
			4 .						
一般財源 合計	314 314	2,000		700 700					4
		2,000	Ι,	700					_
19団体・事業の財務内容		28 年度			補足	₹			
補助金 市	314	2,000							
助成金 その他	0	0							
事業収入	0	0							
会費(自己負担等)	0	0							
繰越金	0	0							
その他	2,826	18,000							1
合計	3,140	20,000							_
市の補助金の割合	10%	10%							

	(2) 直近の見直し	の状況(過去5年	間)		
	1見直しの有無	無	\rightarrow	2見直した年度	年度
	3内容				
,	(3)基本的な視点	からの評価			
	評価項目及	び視点	適否	(△·×の	場合のみ記入)理由・説明
	【必要性】 ①目的・内容に、補助 益性が認められるか	っを行うに足りる公	0		
	②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0		
	③広く市民生活の向」	上に貢献するか	0		
	④市民ニーズが高い	事業か	0		
	⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0		
	⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0		
	【妥当性】				
	⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0		
	⑧最適な補助対象か		0		
	【有効性】				
	⑨補助金額に見合う。 できるか	効果が十分に期待	0		
	⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0		
	【公平性】				
	⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0		
	⑫交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0		

農業機械等導入事業補助金

担当課名

農林振興課

補助金名称	農業機械等導入事業補助金		担当課名	農林振興課		
証価項目 海不 (人・メの場			(Aixの埋ぐ	提会のみ記 1/1理由と会後の対応		

(5) $M1$ F 71 200 .	<u>兄但しの祝品</u>				
評価項目		適否		(△·×の場合	合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定	Δ	終期を	設定し、効果の)検証を行う。 	
②積算基準を定めている (前年踏襲になっている	0				
③補助要綱で補助対象 になっているか	となる経費が明確	0			
④補助対象経費に懇親会費、 補助対象として適当でない経		0			
⑤補助率の上限が、補助の1以内になっているか		0			
⑥繰越金·積立金·余剰 は適切か	金・内部留保の額	0			
⑦類似した補助金はない	いか	0			
⑧自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入:		0			
9再補助(交付先が再补	補助)はないか	0			
⑩履行確認は、適切につ	できているか	0			
(6)補助効果の検	<u> </u>				
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	経営効率	≚化と大	規模化の支援	о	
2達成状況	加。				
3補助効果の評価	らげている	5			
4評価の理由	と申請件	数の増	力口		
(7)今後の方向性					
今後の方向性	で継続				
「a現行のまま継続」の			「b見直した上	で継続」の場合	
継続の理由				見直しの内容	平成29年度までの効果を検証し、継続の可否を決定する。
				見直しの時期	平成30年度中
-					
「c廃止する」の場合				「dその他」の均	景合 T
廃止の理由				その他の 内容	

「c廃止する」の場合	「dその他」の場合		
廃止の理由	その他の 内容		
廃止の時期			